



人文系資料室のご案内

当室には、全蔵書130万冊のうち人文科学の資料約12万冊があり、開架されているものは自由に手にとって見られるように書架に並べています。その他の出版の古いもの・利用のすくないものなどは閉架といって地下の書庫内の書架に並べています。

ここでは、開架の資料を中心にをご紹介します。

図書館では、資料はその内容によって「日本十進分類法」(NDCエヌディーシー)に従い分類しています。分類番号は「三桁(+小数)」の数字で表し、小さい桁ほど概念は細かくなります。例えば、900:文学、910:日本文学、911:日本の詩歌、911.3:俳句、911.34:天明期の俳句、というぐあいです。

同じ分類番号のものに、更に通し番号が与えられます。この二つの番号の組み合わせが請求記号で、これによって資料を特定します。例えば、911.34/7N:『蕪村俳句集』また資料をこの請求記号の番号順に排列しています(この排列は乱れると、探し出すのが困難になります)。

分類番号の前についていることのある「A」や「L」などは、形・大きさが普通と異なるので別置することを示す記号です。通し番号の後ろに付いている「N」は現行のNDC分類に基づくという符号です(付いていないのは古いNDC、「#」が付くのはNDCではなく中之島図書館で使っていた全く別の分類法に基づくという符号です)。これらの符号も請求記号の一部として意味を持ちますので無視しないでください。

「人文(科学)系」とは人間の文化に関する分野を示しており、NDCで、0・1・2類(分類番号000番代、100番代、200番代)及び7・8・9類にあたるものです。(ちなみに3類は社会科学、4・5・6類は自然科学で、いずれも3階にあります)

このうち0~2類を東翼(カウンターに向かって右方向)、7~9類を西翼(左方向)の書架に配しています。

[0]類(総記) <約6,600冊>

内容としては、学問一般・図書館(010)・書誌学(020)などをさしますが、出版形態としての「全集・叢書」(080)も含まれます。

たとえば『東洋文庫』『世界の名著』…色々な分野の

個人全集など(但し文学者などの個人全集はその内容:たとえば「文学」などに分類されます)。

情報科学(コンピュータ科学)(007)・ジャーナリズム(070)は3階に配置します。

[1]類(哲学・宗教) <約10,100冊>

東洋思想(120)・西洋哲学(130)・心理学(140)・倫理学(150)・宗教(160)・神道(170)・仏教(180)・キリスト教(190)

占いや姓名判断(148)は心理学に含まれます。

宗教は、たとえば仏教では浄土真宗・禅宗などと、各宗派ごとに分かれます。

[2]類(歴史・地理) <約16,300冊>

歴史一般・世界史(200)・日本史(210)・東洋史(220)・西洋史(230)・アフリカ史(240)・北米史(250)・南米史(260)・オセアニア史(270)

地域によって冊数にずいぶん差があります。日本史は更に時代別(210.2~210.7)、地域別(211~219)に細かく分類されます。(大阪関係のもの(216.3)は、中之島図書館が充実していますが、当館では立地している東大版を含めさほど蓄積がありません。)

● 伝記(280)

個人伝記(289)は日本・東洋・西洋それぞれに被伝者(誰の伝記か)の名前(姓の最初の2文字)の50音順に並べています。

● 地誌(290)

地域・国別に並べています。旅行ガイドのシリーズものは更にカウンター近くの低書架にも別置しています。

地図は形態が特殊なので、地図帳は壁際の大型書架と低い書架とに分けています。(一枚ものの2万5千分1などの地形図は書庫内にあります)

なお、住宅地図は1階の小説読物室、路線価図、地番図(いわゆるブルーマップ)は3階の社会系資料室にあります。(いずれも近畿地方のみ所蔵)

〔7〕類(芸術・美術)〈約14,700冊〉

美術(700)、彫刻(710)、絵画(720)、版画(730)、写真(740)、工芸(750)、音楽(760)、演劇(770)、スポーツ(780)、娯楽(790)

漫画(726.1)、書道(728)は絵画に、映画(778)は演劇に、釣(787)、プロレス(788.2)、競馬(788.5)はスポーツに、囲碁(795)、将棋(796)は娯楽にあります。

この分類のものは形がちまちまちで視覚的な内容のものも多く、利用の動きが激しいところです。

〔8〕類(言語)〈約3,900冊〉

日本語(810)、中国語(820)・英語(830)・ドイツ語(840)・フランス語(850)・スペイン語(860)・イタリア語(870)・ロシア語(880)

言語の分類は、一般的な言語の系統によらず、「歴史」や「文学」と同じように地域毎に分けているので、たとえば、ヘブライ・サンスクリット・ペルシャ語が朝鮮語と同じく「東洋の諸言語」(829)に配当されているという具合になっています。地域ごとの冊数(日本で出版点数)にはずいぶん差があります。

〔9〕類(文学)〈約20,300冊〉

日本文学(910)、中国文学(920)、英米文学(930)、独文学(940)、仏文学(950)…ロシア文学(980)

日本近代作家研究(910.26)や、各国の文学諸分野で個人の作家が対象のものは作家名(姓の最初の2文字)の50音順に並べています。(日本の明治以降の小説・エッセイ(913.6、914.6)、英米の小説(933)は1階の小説読物室にあります)

以上が一般書、(背の高い書架にあるもの)です。次に(壁際とカウンター近くの低い書架などに)別置しているものとして、

〔大型本〕(別置記号:Aなど)〈約1,500冊〉

地図帳・美術書など縦横の大きい大型本は、一般書架に排架するのが難しいので、内容に応じて同じように分類されていますが、0~2,7~9各類の書架群に相対する壁際の大型書架に別置しています(例えばA729)。

〔参考図書〕(別置記号:参考)〈約4,800冊〉

参考図書(レファレンス・ブック)は、読むためではなく、調べるための、事典・書誌などです。カウンターに近い壁際の書架・その横の低書架にあります。これ

らも、それぞれの分類によって左右に振り分けられています。

参考図書は、館内閲覧のみです(貸出しはできません)。

〔文庫〕(別置記号:L)〈約1,900冊〉

人文科学系の内容の文庫は西翼の奥(8類:言語の後ろ)にあります。

『岩波文庫』『ハヤカワ ミステリー』などの文庫は、1階の小説読物室にあります。

〔外国語資料〕(別置記号:F)〈約3,000冊〉

外国語資料は、西翼の奥(8類・言語、9類・文学の後)にまとめて置いています。

「環太平洋資料」として収集しているのを除けば日本語以外の資料は残念ながら充実しているといえません。



〔雑誌〕(別置記号:P.雑)〈約5,100冊〉

当館で現在受入れ中の雑誌約4,000誌のうち人文系は約1,200誌あり、そのうちの約450誌については最新号を雑誌コーナーに開架しています(比較的最近の号は箱のふたを開けた中にあります)。

バックナンバーは約50誌についての所蔵分全部が、東翼の奥(1類:哲学・宗教の後)にあります。

表に出ていない雑誌については、カウンターでお尋ねください。

なお、図書館の資料は「個人の調査研究のため」その一部分に限り複写できますが、雑誌の「最新号」の複写はできません。また、雑誌は最新号でないものを含めすべて館内閲覧のみです(貸し出しはできません)。

なお、閉架の資料として書庫のなかにあるものについてのご紹介は、又の機会に譲ります。